

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞	
満期相当の脳 magnetic resonance spectroscopy を用いた視床アミノ酸定量値と早産 small-for-gestational age 児との関連	
＜研究機関・研究責任者名＞	
日本大学医学部附属板橋病院 小児科 （研究責任者）森岡 一郎	
＜研究期間＞	
承認日	～ 令和 6（西暦 2024）年 12 月 31 日
＜対象となる方＞	
西暦 2022 年 8 月 1 日 ～ 西暦 2023 年 12 月 31 日の期間に NICU、GCU に入院中に頭部 MRI を施行された児	
＜研究の目的＞	
赤ちゃんの脳の発達にタウリンや gamma amino butyric acid (GABA) などのアミノ酸が関わっていることが知られています。早産児の中で在胎週数に比して体重が小さい児では、脳のアミノ酸の量が通常とは異なる可能性が示唆されています。しかし、実際にどのアミノ酸がどのように通常と異なっているのかはわかっていません。脳 magnetic resonance spectroscopy (MRS) という検査は、脳内のアミノ酸や脂質を検出できる検査で、近年、重症新生児仮死の重症度の評価やアミノ酸代謝異常症を含む先天性代謝疾患の診断に有用であることが知られており、当院では新生児の頭部 MRI ではルーチンの検査として行っています。今回、赤ちゃんの頭部 MRS のデータを用いて赤ちゃんのアミノ酸について評価することを目的とします。	
＜研究の方法＞	
脳 MRS を用いて測定したタウリンや GABA などのアミノ酸について在胎週数や出生体重などとの相関を調べます。早産児の中で在胎週数に比して小さい児とそれ以外との間にアミノ酸の違いがあるか検定を行います。	
＜研究に用いる試料・情報の項目＞	
診療録、頭部 MRS のデータ	
＜お問い合わせ窓口＞	
日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）	
小児科・新生児科	氏名：森岡 一郎
電話：03-3972-8111	内線：（医局）2442

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方